



住江織物株式会社

2009年5月期決算概況



地球温暖化防止に、インテリアができること。

目次

- 1 表紙
- 2 目次
- 3 2009年5月期業績
(連結業績・事業セグメント内訳・B/S C/F・業績の推移)
- 16 中期経営計画“ACTION-2008”
- 18 2010年5月期計画
- 21 株主配当および設備投資について
- 23 製造基盤の構造改革について
- 24 帝人ファイバーと自動車内装材の製造販売会社を設立
- 28 スミノエグループイメージキャラクター「スミノンちゃん・オリモンくん」

2009年5月期(08/6~09/5)連結業績

Profit and loss statement (単位:百万円)

連結業績

	当期	前期	前期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	71,374	80,869	88.3%	9,495	83,000	86.0%	11,626
営業利益	78	2,302	3.4%	2,224	2,500	3.1%	2,422
営業利益率	0.11%	2.85%			3.01%		
経常利益	160	2,288	7.0%	2,128	2,650	6.0%	2,490
経常利益率	0.22%	2.83%			3.19%		
当期純利益	849	982	-86.5%	1,831	1,500	-56.6%	2,349
当期純利益率	-1.19%	1.21%			1.81%		

2009年5月期（08/6～09/5）連結業績

連結売上高は前期比95億円減の713億円

連結売上高

08年10月以降、景気後退の影響が国内外ともに全事業分野で波及した。上期は前年を微増で折り返したものの、下期は前年同期比で76%まで落ち込んだため、通期累計では前期比95億円減の713億円となった。

連結営業利益は前期比22億円減の78百万円

連結営業利益

上期は原油価格高騰によるコスト増加が利益を圧迫し、下期は売上高の急激な減少によって営業損失となったため、通期累計では前期比22億円減の78百万円となった。

連結経常利益

持分法適用会社損失が前期比で2億8千万円減少し3千5百万円となったものの、営業利益の大幅減額が影響し、前期比21億円減の1億6千万円となった。

連結当期利益

自動車用シート表皮材の主力生産拠点である大阪工場の閉鎖などによる事業構造改善費用(7億7千9百万円)や有価証券の評価損(9千万円)など、10億4千1百万円の特別損失を計上したことにより、前期比18億円減の8億4千9百万円の当期純損失となった。

連結業績の事業セグメント別内訳

Segment information (単位:百万円)

売上高	当期	前期	前期比	
			(%)	(増減額)
インテリア	35,276	37,864	93.2%	2,588
自動車・車両内装	31,624	38,097	83.0%	6,473
その他	4,472	4,907	91.1%	435
セグメント合計	71,374	80,869	88.3%	9,495

営業利益	当期	前期	前期比	
			(%)	(増減額)
インテリア	904	1,047	86.3%	143
自動車・車両内装	403	2,575	15.7%	2,172
その他	189	210	90.0%	21
消去	1,419	1,530		111
セグメント合計	78	2,302	3.4%	2,224

インテリア事業分野

コア商品であるカーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売



連結売上高 **352** 億 7千6百万円

(前期 378億6千4百万円)

連結営業利益 **9** 億 4百万円

(前期 10億4千7百万円)

前期比25億円減収、1.4億円減益

景気悪化の影響からオフィスビルや商業施設、ホテルなどのリニューアル、新築工事が大きく減少したため、ロールカーペットの売上が大きく落ち込み、タイルカーペットも前年割れとなった。一方、一般家庭向けのカーペット、ラグマット類は、消費マインドが大きく冷え込むなか、ペットボトルリサイクル繊維「スミロン®」を使ったラグマットなど、リサイクル性とオリジナリティにあふれた商品が健闘し、前年を上回る結果となった。営業利益では、下期以降、徹底的な経費の削減を実施したが、それを上回る売上の急激な減少により、前年割れとなった。

別注カーペット

carpet



リーガロイヤルホテル



ホテルニューオータニ大阪



ホテル日航東京

壁紙



東京ドームホテル

wallpaper

自動車・車両内装事業分野 自動車内装

フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで供給



(車両内装分野を合わせた連結業績)

連結売上高 **316** 億_{2千4百万円}

(前期 380億9千7百万円)

連結営業利益 **4** 億_{3百万円}

(前期 25億7千5百万円)

前期比64億円減収、21.7億円減益

国内における自動車生産台数が年度前半は緩やかに減速していたが、年度半ばからは景気後退を受け急激な減産となった。自動車内装事業も同様に、上期までは売上および営業利益ともに前年同期を上回ったものの、下期以降は売上が前年同期比で半減し、利益面でも営業損失となるなど、非常に厳しい事業環境となった。海外では、米国ビッグ3体制が崩壊し、北米自動車市場が低迷を続けており、米国子会社STAも売上が伸び悩み、利益面でも回復に至らなかった。中国では、SPM(住江互太(広州)汽車纖維製品有限公司)が売上を伸ばし、利益面でも順調に推移した。



日産 キューブ



ダイハツ ブーン ルミナス

Car Fabric



トヨタ プリウス

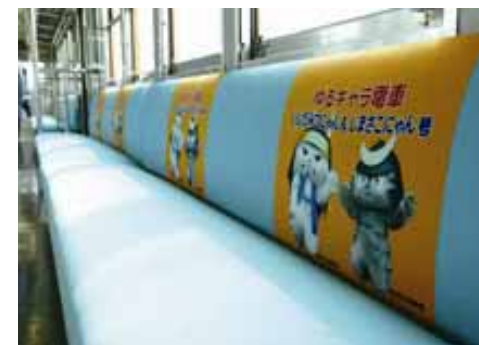
自動車・車両内装事業分野 車両内装

鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、
リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ・e」等を販売



鉄道車両の内装材需要が新車では安定的に推移したものの、リニューアルは景気悪化の影響から縮小し、また、バス向け内装材も大きく落ち込んだため、減収減益となった。

Train Fabric



JR西日本 新型サンダーバード

大阪市営地下鉄谷町線

近江鉄道「ゆるキャラ電車」

その他の事業分野

Industrial Materials



連結売上高 **44** 億^{7千2百万円}

(前期 49億7百万円)

連結営業利益 **1** 億^{8千9百万円}

(前期 2億1千万円)

前期比4億円減収、2千万円減益

ホットカーペット事業は受注台数を伸ばし、生産拠点である蘇州住江織物有限公司は生産を順調に拡大し、国内の販売と合わせ収益に貢献した。タイルカーペットのOEM事業では、国内は低調となったが、海外向けは売上を伸ばした。その他事業全体では、減収となったものの、利益面では前年同水準を維持した。

連結 B / S 連結 C / F

Balance sheet (単位:百万円)

連結 B / S	前期	当期
総資産	79,935	68,483
現預金	8,960	6,749
売上債権	21,847	15,921
たな卸資産	10,302	10,748
その他の流動資産	4,049	3,139
有・無形固定資産	24,348	23,360
投資その他の資産	10,428	8,564
総負債	51,782	43,434
仕入債務	22,261	15,050
短期借入金および 一年以内償還社債	9,069	9,307
その他流動負債	4,596	3,023
長期借入金・社債	5,805	6,523
その他固定負債	10,051	9,531
純資産	28,152	25,048
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	6,429	5,201
自己株式	318	324
有価証券評価差額金	2,409	544
土地再評価差額金	7,184	7,184
その他評価・換算差額	72	157
少数株主持分	313	393

売上の急激な減少にたな卸在庫の圧縮が追いつかず、また、国内生産拠点の再構築にあたって発生した退職金の支払いがあったため、現預金が減少した。

売上の急減が影響し、売上債権、仕入債務ともに減少した。

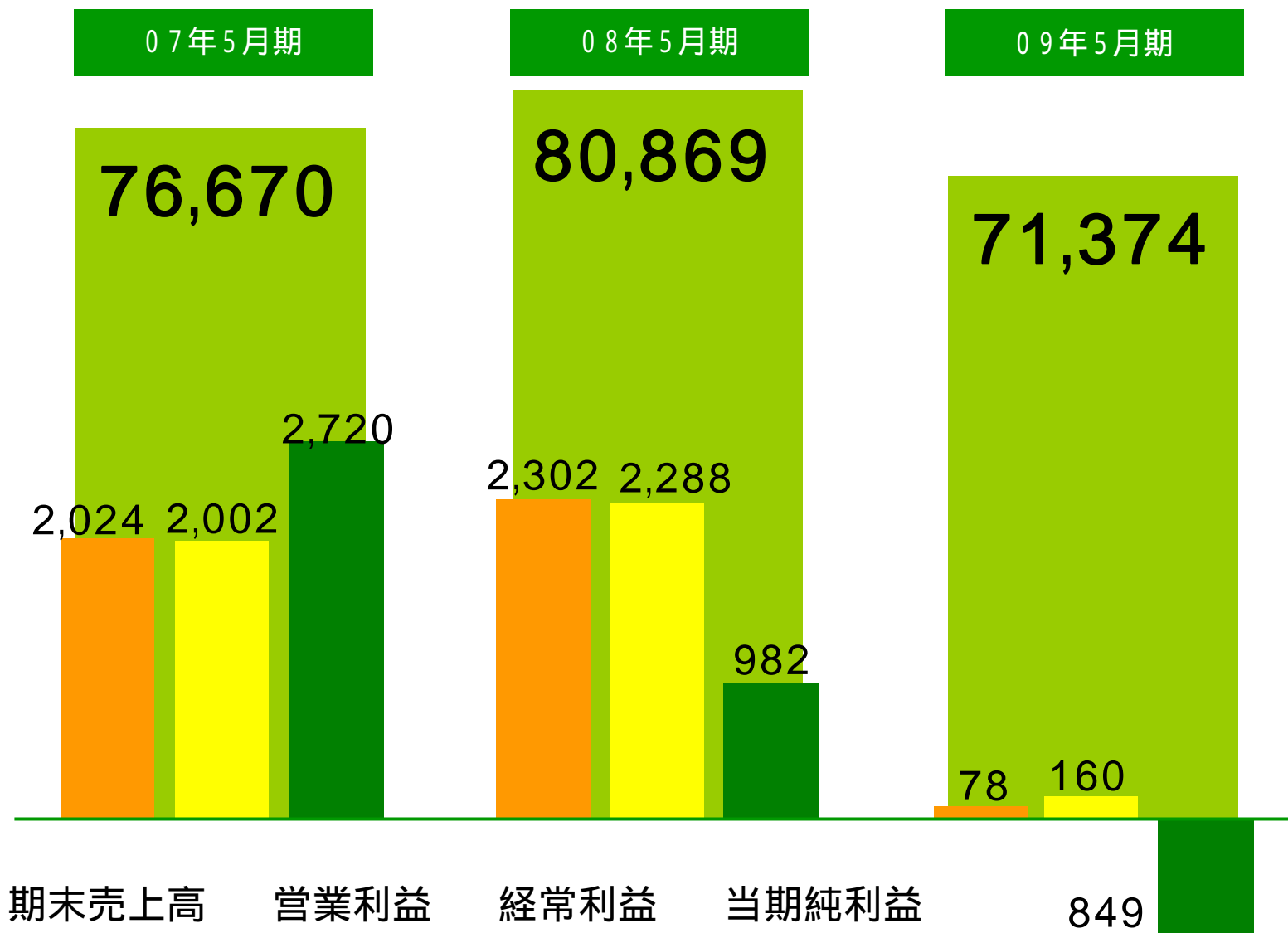
保有有価証券の株価低迷により、評価差額が減少した。

Statement of cash flows (単位:百万円)

連結 C / F	前期	当期
営業活動による C / F	4,715	2,736
投資活動による C / F	1,105	453
財務活動による C / F	1,322	668
換算レート変動の影響	73	89
期中の増減額	2,213	2,431
期首の現金残高	6,746	8,960
期末の現金残高	8,960	6,529

連結業績の通期推移

(単位：百万円)



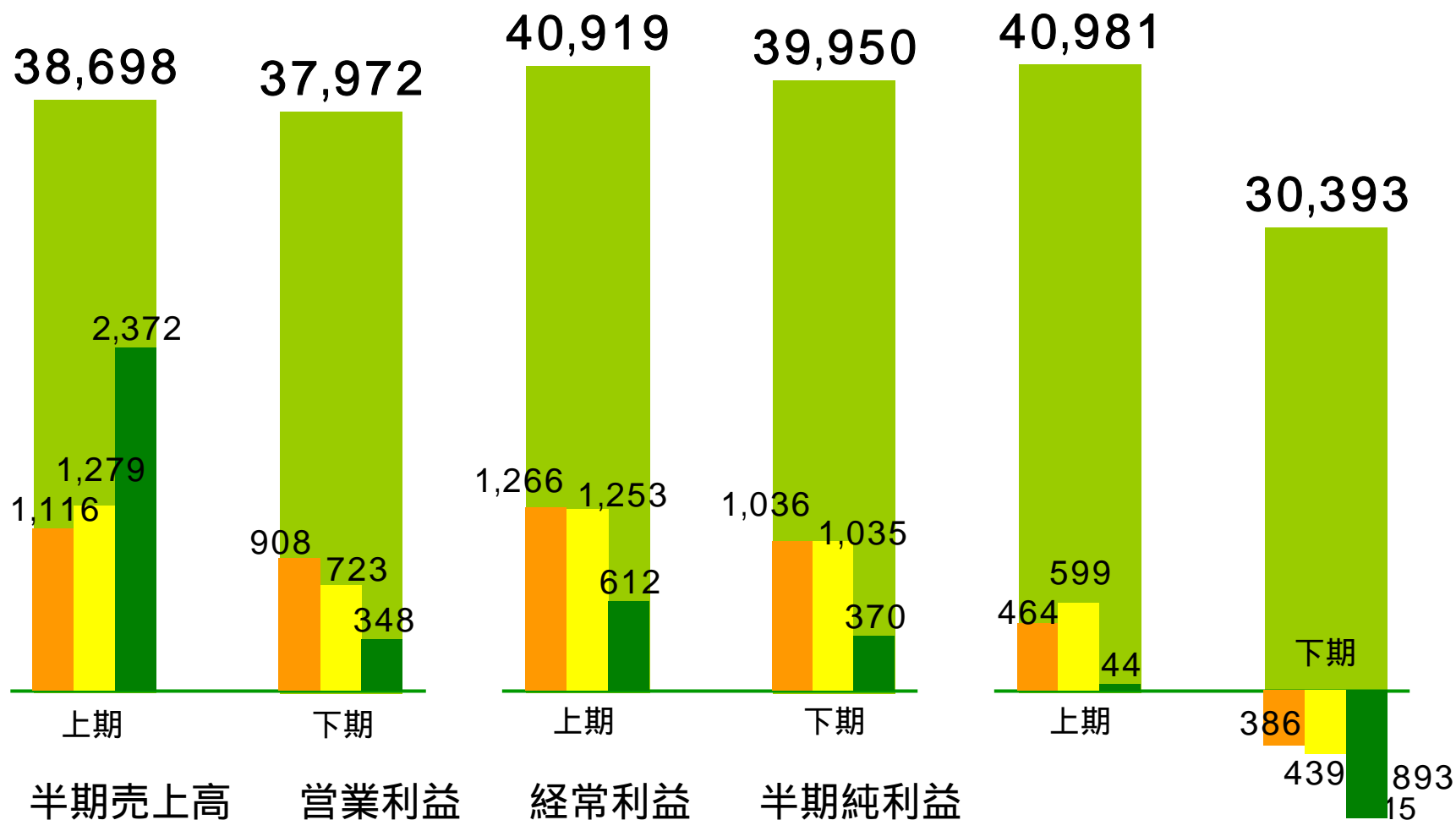
連結業績の半期別推移

(単位：百万円)

07年5月上期・下期

08年5月上期・下期

09年5月上期・下期



中期経営計画 ” ACTION - 2008 ”

中期経営計画“ACTION-2008”は、「事業体質の強化」と「収益基盤の拡充」を基本方針として2006年6月にスタートし、以下の項目を最終目標に掲げ、取り組んでまいりました。

主な目標

連結売上高 **800** 億円へ

インテリア事業と自動車・鉄道車両内装事業の
比率を **50%** : **50%** に

3年間で20億円の有利子負債圧縮

08年5月期に1年前倒して達成したものの、米国に端を発した世界経済の失速により、当社でも全事業分野でその影響を受け、最終年度の09年5月期は未達成となった。

売上高に占める海外売上高を **10%** 以上へ

06年5月期では30億円だった海外売上高が、09年5月期では、自動車内装事業を中心に77億円(米国62、中国15)となり、10%超となった。

09年5月期までに営業利益率 **3.5%** 以上

自己資本比率 **38%**

事業環境の悪化に伴い未達成となったが、目標達成に向け継続してチャレンジしていく。

中期経営計画 "ACTION - 2008"

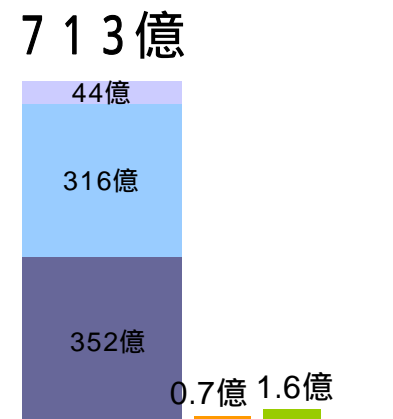
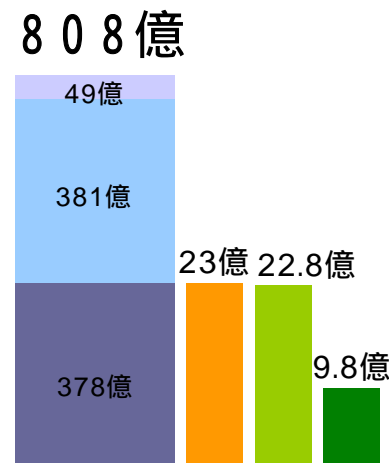
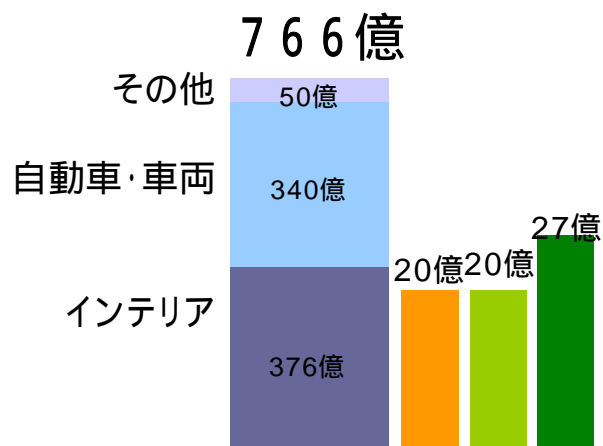
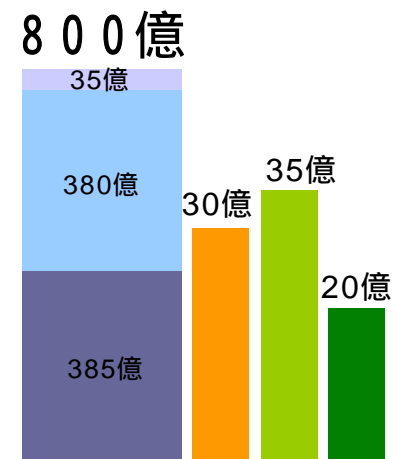
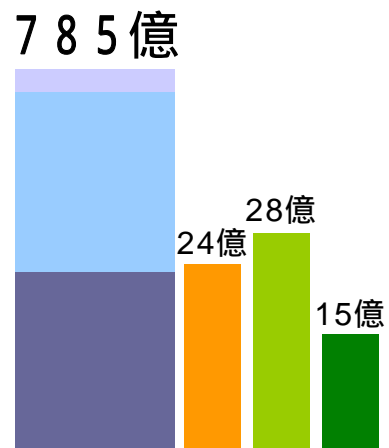
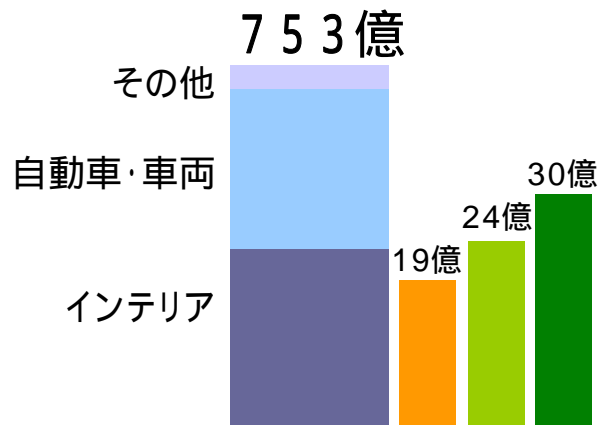
中期経営計画

実績

07年5月期

08年5月期

09年5月期



営業利益

経常利益

当期純利益

8.4億

2010年5月期計画

2010年5月期 期初計画

連結売上高 **650** 億円

連結営業利益 **4** 億円

連結経常利益 **7** 億円

連結当期純利益 **4** 億円

2010年5月期計画

連結売上高は前期比63億円減の650億円、営業利益4億円

インテリア事業

いまだ底の見えない世界的な景気低迷により、先行き不透明な経済情勢が続くなか、オフィスビル・商業施設・ホテルのリニューアル・新築工事が停滞し、一般家庭向けのカーペット・ラグマットも消費マインドの冷え込みが影響し、当事業の売上は前期比10%減の315億円を計画する。

自動車・車両内装事業

自動車内装事業は、国内・北米ともに、上期は自動車減産が影響し、売上、利益面ともに厳しい状況が続き、下期はやや回復は見込めるものの、売上は通期で前期比20%減となる模様。依然として厳しい事業環境が続くが、帝人ファイバーとのシート事業に関する新会社の立上げ、米国STAの収益化、中国SPMの事業拡大を推進し、世界市場を視野に入れた強固な事業基盤の構築を目指す。新たに連結対象となる帝人テクロス、尾張整染の2社と、車両内装事業を加えた自動車・車両内装事業分野の通期売上は295億円を計画する。

2010年5月期計画（セグメント別）

セグメント別実績および計画（単位：億円）

【売上】	< 2009年5月期実績 >			< 2010年5月期計画 >		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
インテリア	178	174	352	155	160	315
自動車・車両内装	198	118	316	130	165	295
その他	33	11	44	31	9	40
合計	409	303	713	316	334	650

【営業利益】	< 2009年5月期実績 >			< 2010年5月期計画 >		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
インテリア	2.2	6.8	9.0	2.5	5.5	8.0
自動車・車両内装	7.3	3.3	4.0	2.5	6.5	9.0
その他	2.3	0.5	1.8	1.5	0.5	1.0
消去	7.3	6.8	14.1	7.1	6.9	14.0
合計	4.6	3.8	0.7	0.6	4.6	4.0

株主配当について

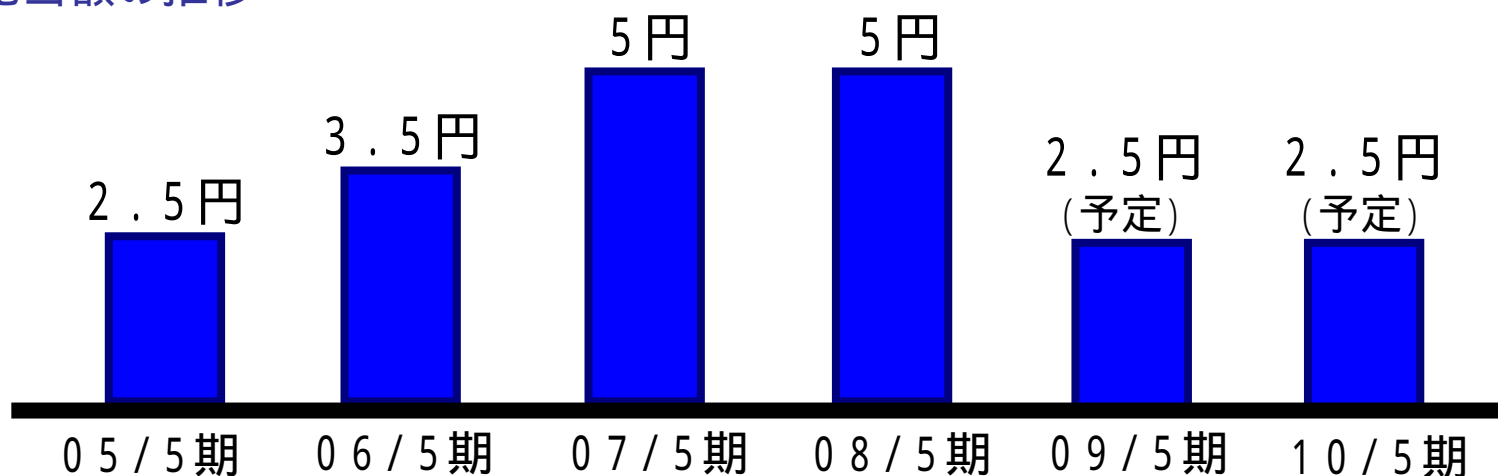
09年5月期について

1株につき2円50銭の中間配当を行いました。年度半ばからの業績悪化を鑑み、期末配当については0円を予定しています。

10年5月期について

景気後退の影響から年度前半は、引き続き厳しい事業環境となることが予想され、中間配当については1株につき0円、期末配当は2円50銭を予定しています。

配当額の推移



設備投資について

中期経営計画(06年6月～09年5月)では総額40億円の設備投資を計画しておりましたが、昨今の経済情勢の急変に対応し、09年5月期設備投資については見直しを図り、3カ年で総額36億5千万円となりました。

	中期経営計画 3カ年総額	3カ年 実績合計	07年5月期 実施額	08年5月期 実施額	09年5月期 実施額
国内	24億円	20.5億円	10億円	6.5億円	4億円
海外	12億円	13.5億円	6億円	4億円	3.5億円
IT投資	4億円	2.5億円	-	1.5億円	1億円
合計	40億円	36.5億円	16億円	12億円	8.5億円
		40億円	16億円	12億円	12億円

3カ年の主な設備投資

米国STA 自動車内装材製造設備拡充	11億円
中国SPM //	2.5億円
リサイクルポリエステル繊維「スミترون®」製造設備	6億円
シートクッション「スミキューブ・e」製造設備	1億円

製造基盤の構造改革について

大阪工場を閉鎖

2008年12月以降、自動車生産台数が激減し、主力事業である自動車内装事業を取り巻く環境も想定を上回るスピードで激変しており、当社の収益にも多大な影響が出ております。長期的な安定経営を維持するため、製造基盤の抜本的な改革が急務と認識し、シート表皮材の生産拠点である大阪工場を閉鎖し、また、カーペット製造子会社である住江奈良株式会社を最適生産規模へ再編致しました。

当期の特別損失に事業構造改善費用として7億7千9百万円計上

固定資産処分損 3.3億円
(大阪工場閉鎖と住江奈良の
生産設備見直しによる処分損)

ファブリック製造基盤の
再構築による退職加算金
4億円

今回の構造改革に伴い、2010年5月期以降、
年間5億5千万円の人件費削減効果が見込まれる。

帝人ファイバーと自動車内装材の製造販売会社を設立

帝人ファイバー株式会社と自動車向けシート表皮材および天井材の製造販売会社を新たに設立します。

両社のファブリック事業を分割・統合することにより、自動車内装材業界でも類を見ない製販一体型「垂直統合」を実現します。



ゆたかなインテリアライフをお届けする信頼のブランド

住江織物株式会社

シート企画開発力
デザイン提案力
販売力

TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

帝人ファイバー株式会社

高機能繊維
高度な加工技術

スミノエ テイジン テクノ株式会社

2社の強みを最大限に活かした自動車内装材メーカーへ

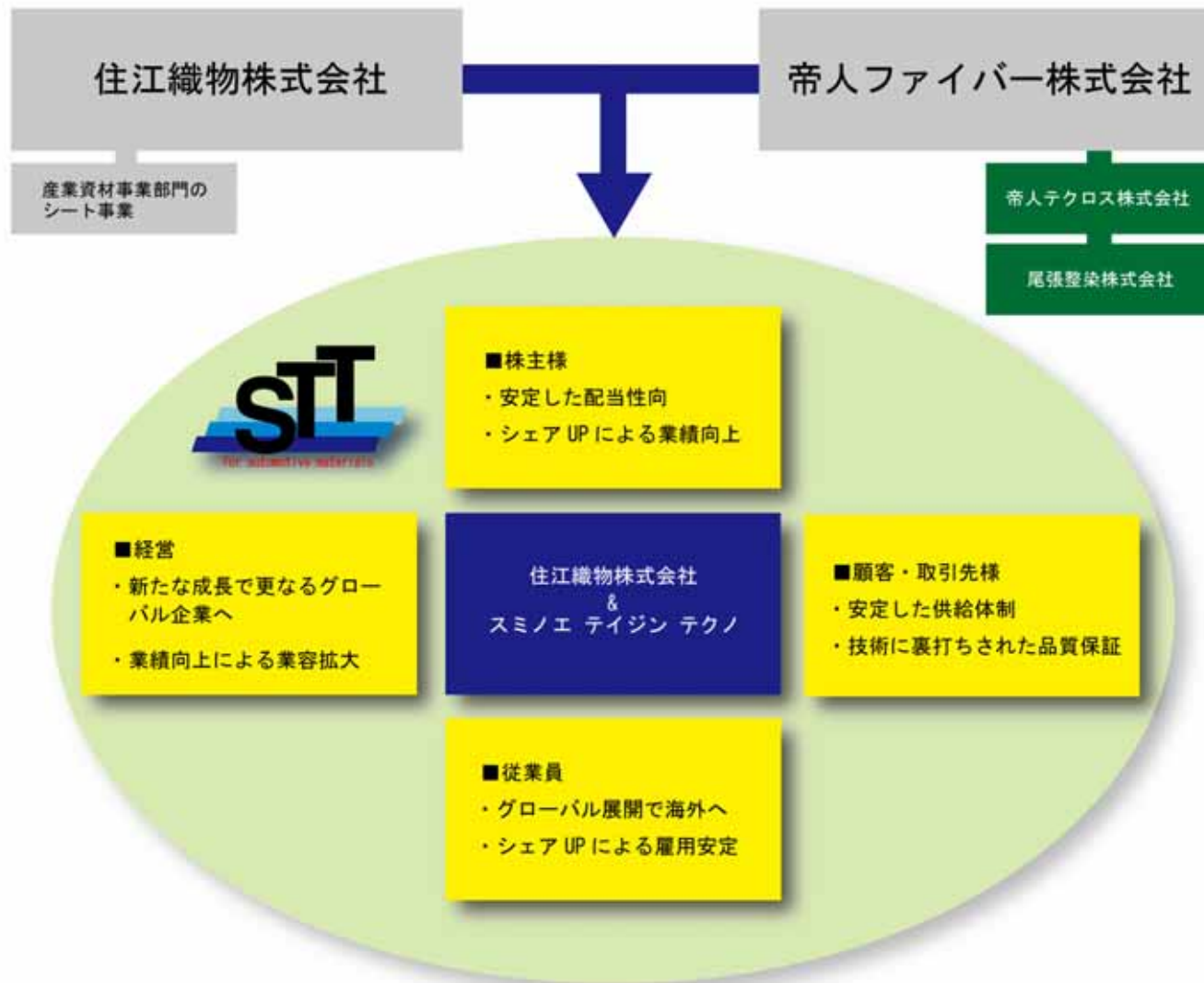
統合によるメリット

垂直統合による大きなシナジー効果



さらに、自動車内装用モジュール化製品にも新たな
ビジネスとしての可能性も期待

統合によるメリット



スミノエ テイジン テクノ株式会社の概要

社名	スミノエ テイジン テクノ株式会社
営業開始日	2009年12月1日(会社設立も同日付)
所在地	大阪府中央区南船場3-11-20
資本金	4.5億円
出資比率	住江織物:50.1%、帝人ファイバー:49.9%
代表者	代表取締役社長 吉川 一三
事業内容	自動車向けシートおよび天井材の開発・生産・販売

スミノエグループオリジナルキャラクター

グループのイメージキャラクターとして
「スミノンちゃん・オリモンくん」
が誕生しました。

販促活動やIR活動でノベルティグッズを配布し、また、雑誌、新聞、インターネット等の広告でも活用していく予定です。イメージキャラクターの活用によって、企業イメージの刷新と認知度のアップを図ってまいります。



スミノンちゃん オリモンくん

「スミノンちゃん・オリモンくん」は、スミノエの商標である「たつのおとしご」をモチーフにして生まれたキャラクターです。

「肉食女子」「草食男子」ではありませんが、勝気でおしゃまな「スミノンちゃん」と、いつもスミノンちゃんのご機嫌を伺っている「オリモンくん」という、ゆるキャラにふさわしい現代的なキャラクター設定です。



スミノンちゃん・オリモンくんを使った環境広告